

自主貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 令和4年2月1日(火)

発行者 学校長 古木 喜雅

所在地 神奈川県西寺尾三丁目10番1号

電話 045-401-3644 FAX 045-431-0244

絶対大丈夫

副校長 綿貫芳人

令和4年が始まり、気持ちを新たにスタートした矢先に、急速な勢いでオミクロン株が流行しています。学校生活は、感染防止対策をしっかりと講じながらなんとか活気を失うことなく粛々と流れています。改めまして、いつも本校の教育活動にご理解・ご協力いただき本当に感謝を申し上げます。

さてタイトルの言葉ですが、誰が言った言葉かわかりますか。今年プロ野球のセリーグで優勝し、日本一に導いたヤクルトスワローズの高津臣吾監督の言葉です。ヤクルトは、昨年まで2年連続最下位でした。そんなチームを就任2年目の高津監督が日本一に導きました。驚くべきことに、前年最下位からの日本一は61年ぶり2球団目の快挙だそうです。チームが大きく変わった原因は、もちろん選手達の努力もあったと思いますが、指揮官の手腕によるところが大きいと言われています。その一つに、高津監督の「絶対大丈夫」という“魔法の言葉”にスポットライトが当たっています。シーズン後半でチームが調子を崩し、優勝するには負けられない試合前のミーティングでこう檄を飛ばしました。

「絶対大丈夫！絶対いけるから！絶対大丈夫！もしグラウンドに立つときに思い出したら絶対大丈夫と一言言って打席に、マウンドに立ってください。絶対大丈夫です」この試合でホームランを打った主砲の村上選手は、「『絶対大丈夫』だと、2、3回言って打席に立つようにしていました。言葉ってすごく大切なんだと思いました」と言っています。

短い時間で相手の心が動くときは、いくつかの要件があるとされています。それは、①ポジティブな言葉を使う ②短い言葉を使う ③わかりやすい言葉を使う ④相手が一番言ってほしい言葉を使う ⑤相手を本気で応援する思い持つ だそうです。

現在、3年生は、自分の進路を切り開くために必死に戦っています。“魔法の言葉”は、人によって違うと思いますが、彼らの背中を少しでも後押しできるような言葉を伝えることができたらと思います。また、1、2年生にとっても、大切なまとめの時期に入っています。保護者・地域の方々と協力し、良いまとめができるよう尽力いたしますので今後ともご協力をお願いいたします。